

「エネルギー・ドライレギオ」宣言 将来性ある3国国境地帯のために 持続可能なエネルギーを目指して

太陽エネルギー&省エネのモデル地域に向けた具体的 ビジョン

3カ国国境地帯オーバーラインの市民が求める未来のエネルギーの在り方は、持続可能なエネルギー源によるものです。今現在、この地域は石油をはじめとする化石燃料や原子力発電に依存しています。しかしこれらの電源は未来あるものではありません。自然と人間をさいなみ、気候と世界平和に悪影響を与える上、この地域にも発生しかねない大きなリスクをはらんでいるからです。

ライン河を挟んだ3国の市民、団体や企業は、すでに今まで代替的なエネルギーの在り方を模索してきました。ただそれは急速に、広がりを持って実現してきませんでした。そのため私たち3カ国地帯の市民団体は、地域的で開かれたネットワーク「エネルギー・ドライレギオ」を結成することにいたしました。

私たちの提案は以下の通りです。

1. この地域は、持続可能なエネルギー産業のモデルとなるよう努力します。それは1992年リオ・デ・ジャネイロで開かれた国連環境開発会議の原則に準拠して、環境を守り、社会的に公正で、総合経済にかなった形であるべきです。エネルギー効率がよく、かつ再生可能エネルギーによって賄われる社会と経済となるよう、こつこつと変革を遂げていきます。

2. この地域は、省エネおよびエネルギー効率を上げることによって2050年までに、市民へのエネルギー供給サービスを引き下げることなく、エネルギー消費量を半減させることを目指します。残ったエネルギー需要は全て再生可能エネルギーで賄います。また温室効果ガスの排出量も80%以上削減させなくてはなりません。化石由来のエネルギーからの自立を図り、また可及的速やかに脱原発を目指します。

3. この地域は高度なエネルギー利用、効率のよいエネルギー消費および省エネルギーのモデルとなるべきです。建築物は新築の場合、エネルギー消費を最小化したものだけを建設し、既存の建物に関しては、厳しい基準に沿ったエネルギー改修工事をできる限り行います。家々にはソーラーパネルを取り付け、家電製品はエコラベルで最も

優れたものを使い、冷暖房は省エネ効率の高いコージェネ発電機に切り替えます。排熱利用や、エネルギー効率のための建築基準の見直しなども行われるべきでしょう。

4. この地域は、太陽光エネルギーおよびバイオマス、風力・水力また地熱エネルギー利用の模範となるべきです。その際はもちろん、自然と環境、資源に悪影響を与えないよう配慮されなくてはなりません。これらのエネルギー源はここには十分にあります。建物は能動的にも受動的にも太陽のエネルギーを利用することができます。交通の面では、最適化された公共交通が最優先され、それも再生可能エネルギーによって運用されるべきです。再生可能エネルギーの需要と供給が季節によって偏る問題は、貯蓄技術によって解決されるでしょう。

5. このエネルギーモデル地域は、総合経済的に見て長期的に割安で、リスクが低く、かつエコロジカルな手法で実現できるものです。それは同時に、将来にわたって安定的な数万の職場を生み出すことにつながります。すでにいくつかの自治体はこの目標に向かって熱心に取り組んでいます。またこの地域の市民や都市計画者、企業などの努力によって、初めの一步となる建物や居住地、工業地区はすでに完成しているのです。これら環境に配慮されたエネルギー建築はどんどん広がっていかなくてはなりません。

6. エネルギーモデル地域というものはまた、市民や自治体およびそのほかの母体による様々な活動が、分権的に行われることを意味します。エコロジカルなエネルギー源や貯蓄技術、再生可能エネルギーは、集権的なものではないからです。地域の自治体や産業、電力会社、また3カ国にまたがる組織は、さらなる進歩を目指して努力するべきです。行くべき道はすでに示されています。

7. 同時に私たちは、国家だけではなくEUレベルにおいて、法規制や優れた推進政策でもってこの目標が奨励されるための枠組み作りを望みます。同時にそれを達成するために、市民や自治体、地域がそれぞれ責任をもって取り組んでいくことも推奨されるべきでしょう。

8. 3カ国国境地帯における市民の自主的な団体である私たちから、皆さんに呼びかけたいことは以下の通りです。

民主的で先見性のあるエネルギーモデル地域を作り出すチャンスと一緒につかみましょ。皆さん自身でまず最初の一步、それに続くさらなる歩みを踏み出してください。自治体や地域の政治家や企業に、模範となる行動を示すよう要求ましょ。持続可能性のあるエネルギーおよび気候保護コンセプトの創出と、それが円滑に実施されるよう求めていましょ。

私たちは皆さんに偏りのないアドバイスや情報をご提供ます。また皆さんからのご支援やご協力も大歓迎です。「エネルギー・ドライレギオ」に加盟している団体とぜひコタクトをとってまください。手紙、電話、メール、なんでも構いません。私たちのホームページを訪れてまください。会員になったり、私たちの活動やネットワークを経済的に支援したりしてまください。「エネルギー・ドライレギオ」は2003年にEUが支援しているプログラム「オーバーラインでの出会い」から助成を受けております。同様に、フライブルク市「アジェンダ 21 オフィス」から補助金を、パートナー団体から資金援助をいただいております。

「エネルギー・ドライレギオ」には2003年の3月14日に、 まず下記の10団体が加盟ました。

Alter Alsace Energies, F-68460 Lutterbach, CSFR,
F-67130 Fréconrupt,
fesa e.V., D-79110 Freiburg,
FIUC e.V., D-79098 Freiburg,
Förderverein Zukunftsenergien,
SolarRegio Kaiserstuhl e.V., D-79639
Wyhl (*Kontakt-Adresse Endinger Str. 67, D-79639 Wyhl*),
Ökozentrum Langenbruck, CH-4438 Langenbruck,
SSES Regionalgruppe Basel, CH-4466 Ormalingen,
sun21, CH-4010 Basel,
Trinationales Umweltzentrum e.V., D-79576 Weil
AK Bauen und Energie. Ideelle Koop./Initiatorin
ECO-Stiftung für Energie-Klima-Umwelt bei
Gemeinnützige Treuhandstelle e.V..20040520/ApV2D71S.
さらなる18の加盟団体については私たちのホームページ
をご覧ください。
www.Energie-3Regio.net www.Energie-3Regio.de

賛助団体

エネルギー・気候・環境のためのエコ基金 (GLS 信託)

コタクト(独・英・仏語)

プロジェクトリーダー

Dr. Georg Löser, Weiherweg 4 B, D-79194 Gundelfingen,
[georg.loeser\(at\)gmx.de](mailto:georg.loeser(at)gmx.de), [ecotrinova\(at\)web.de](mailto:ecotrinova(at)web.de)

Wir unterzeichnen die Erklärung von Energie-3Regio

私たちは「エネルギー・ドライレギオ」の声明に賛同し署名
まします。

名前/住所

.....

.....

都市名、日付、署名.....

.....

私たちからの意見: